

|      |         |      |    |      |   |      |      |
|------|---------|------|----|------|---|------|------|
| 科目名  | 社会保障論 I |      |    |      |   | 単位   | 2.0  |
| 担当教員 | 渡邊 幸良   |      |    |      |   |      |      |
| 授業形態 | 講義      | 開講期間 | 前期 | 配当年次 | 2 | 授業番号 | 5311 |

●授業のテーマ

社会保障の概念や対象・理念などを理解する

●到達目標

社会保障の概念や対象・理念などを学び、現代社会における課題を理解する。そして、社会保障の財源と費用に関する課題を考察しながら、国による国民に対する生活保障である社会保障を理解する。

●学習内容(授業概要)

我が国の社会保障は、戦後、福祉国家をめざして生存権保障をすべく社会保障制度審議会の「社会保障制度に関する勧告（50年勧告）」をもとに整備されてきた。その後、現代社会の変化とともに、さまざまな問題が出され、社会保障の意義が問われている。これら社会保障に関する問題を理解するために、前期では、現代社会における社会保障制度の課題や概念、対象、理念、財源と費用、社会保険と社会扶助および公的保険制度と民間保険制度の関係などを学ぶ。また、後期では、社会保障制度の体系を踏まえ、それぞれの制度の具体的な内容、および諸外国における社会保障制度の概要を習得する。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. 人口動態の変化、少子高齢・人口減少社会
2. 労働・雇用環境の変化
3. 政治・経済的な問題と社会保障の課題
4. 社会保障の概念と範囲
5. 社会保障の役割と意義
6. 社会保障の理念
7. 社会保障の対象
8. 社会保障制度の発達Ⅰ（欧米）
9. 社会保障制度の発達Ⅱ（日本）
10. 社会保障の財源および給付費
11. 国民負担率
12. 国民負担率と財源：費用に関する国家的課題
13. 社会保険の概念と犯意
14. 社会扶助の概念と犯意
15. 保険の機能と構造

●準備学習・事後学習の内容

「学びあい×キャリアポートフォリオ」の「レポート」を利用して、毎回の授業前日までに「準備学習」の課題に回答し、さらに、毎回の授業後6日以内に「事後学習」の課題に回答しなさい。

●成績評価方法・基準

準備学習・事後学習 30%、期末テスト 70%

●テキスト（必携）

《No.1.》書籍名：現代の社会福祉士養成シリーズ 第3版 社会保障、著者名：川村匡由 他、出版社：久美出版、販売先：Yショップ同朋学園店

●参考文献／その他

適宜紹介します。

●履修上の注意

授業前に、テキストの次回該当箇所を読んでください。

毎日、テレビや新聞、webのニュースを見て下さい。

授業中の質問やディベート・討議にも積極的に参加してください。